

OSIFA

大網白里市国際交流協会

OamiShirasato International Friendship Association



つばさ 23

July 2019

CONTENTS

頁

- 01 大網白里市国際交流協会総会
  - ・レポート
  - ・会長挨拶
- 03 令和元年度協会役員名簿  
新任理事紹介
- 04 令和元年度事業計画
- 05 平成30年度実施事業
- 06 ホームステイ受入れ報告
- 07 2019年度 語学講座  
グローバル・カフェ
- 08 会員募集・協会案内  
編集後記



発行 大網白里市国際交流協会  
 事務局 大網白里市教育委員会  
 生涯学習課内  
 ☎ 0475(70)0380  
 Fax 0475(72)9115  
 URL: <http://osifa.jimdo.com>

## 第26回大網白里市国際交流協会総会



田村隆文会長

令和元年5月26日(日)大網白里市中央公民館にて、令和元年度定期総会が開催されました。

総会には、大網白里市教育委員会教育長 深田義之様、生涯学習課長 齋藤隆廣様、茂原市国際交流協会会長 湯浅幸子様、同協会

副会長 古作俊夫様、同事務局 篠崎武彦様合わせて5名の来賓にご臨席頂き、会員41名が出席して盛大に挙行されました。

田村会長による開会の挨拶に引き続き深田義之教育長からご祝辞を頂き、来賓一人一人の紹介の後、議事の審議に入りました。

昨年度の事業活動報告、収支決算報告、監査報告の承認の後、本年度の事業計画案、収支予算案、そして理事と役員を選任案と合わせて6議案を全会一致で承認し、総会を終了しました。



深田義之教育長

総会終了後は、引き続き講堂



金坂昌典市長

にて、来賓の方々も交えて、ミニ・パーティーを開催しました。このミニ・パーティーには、ご公務の為に総会には間に合わなかった大網白里市長 金坂昌典様にもご臨席頂き、ご祝辞とご挨拶を賜りました。金坂市長のご挨拶の後、茂原市国際交流協会の湯浅会長から乾杯のご発声を頂き、全員で乾杯して新年度の門出を祝いました。



審議風景



4人の新理事紹介

## ＜田村隆文会長の挨拶＞

皆さん、今日は。本日は、令和元年度第26回大網白里市国際交流協会の総会に当たりまして、多数の皆様のご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、大網白里市より、深田教育長様、斎藤生涯学習課長様、茂原市国際交流協会 湯浅会長様、古作副会長様のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。なお、金坂市長様は公務により、後ほどご臨席を賜る予定となっております。



金坂市長と記念撮影

さて、協会のこの1年を振り返ってみますと、大変充実した1年間であったと思います。昨年の5月には千葉県が誘致している台湾からの17名の高級中学校（日本では高校生）の訪日教育旅行ホームステイを受け入れました。本年度も既に5月13日に6名の台湾からのホームステイを受け入れております。また、6月にも城西国際大学から5名の留学生を迎えてホームステイを実施いたしました。11月に実施しました城西国際大学との交流会では、日本に来て間もない留学生が大変流暢な日本語で言葉や文化や習慣の違いを乗り越えて日本社会を理解しようとする素晴らしいスピーチをいただき、毎回、聞くたびに感動しております。

本年1月に実施しました国際食文化交流会は、約110名の参加者があり、参加した国別料理は9ヶ国1地域となり、歌や踊りのパフォーマンスもあり、大変楽しい国際食文化交流会となりました。

次に通年で実施しております事業として、日本語教室があります。日本語教室は発足して3年半を過ぎ、一定の評価と学習者の要望を踏まえて、この4月より、月3回から4回に変更して、毎週の土曜日に実施しております。また、在住外国人と地域の皆様の交流の場としてのグローバル・カフェを月1回・第3土曜日に運営しております。

以上が、昨年度の事業と継続事業ですが、事業の概要について説明させていただきました。

さて、最近の日本の国際化は着実に進んでおります。昨年度の日本を訪問した外国人観光客は約3100万人を突破しており、在住外国人は約270万人となっております。また、本年4月からは入国管理法の改正によりまして向こう5年間で14職種の分野で34万5千人の外国人労働者を受け入れる準備を進めており、多くの外国人の皆様が日本に来て生活をする事になります。また、このために国は全国100箇所に「多文化共生総合相談ワンストップセンター」を設置するために約224億円の予算を計上しております。幸いなことに本市は4年前から多文化共生推進プランを策定して本市と私達国際交流協会が連携しながら協働事業を実施しております。日本語教室、グローバル・カフェや総合防災訓練は多文化共生推進プランの一環として実施している事業となっております。

最後になりましたが、国際交流事業や公益性のある多文化共生事業の推進の多くは、行政や会員各位の皆様のおかげによって支えられておりますが、事業を運営する私達の協会は、純然たるボランティア組織でございますので、今後とも、より一層の皆様のご支援、ご協力をお願いしたいと思います。

本日は、新年度事業計画について第6号までの議案を提出してございます。

皆様の慎重なご審議をお願いして開会の挨拶といたします。

ありがとうございました。

## <令和元年度協会役員名簿承認>

2019（令和元年）年度は、理事の改選年度です。平成30年度に選任された理事も含め全員が改選となり、新たな理事候補4名を含め、下記の通り17名の理事と2名の監事の選任が承認されました。

| 役職   | 氏名           | 担当委員会                   |
|------|--------------|-------------------------|
| 会長   | 田村 隆文        | 多文化共生委員長                |
| 副会長  | 古内 早苗        | 研修委員長、多文化共生副委員長         |
| 副会長  | 橋本 聡二        | 交流委員長、広報委員長代行、多文化共生副委員長 |
| 副会長  | 平井 杏         | 日本語教室委員長、交流副委員長         |
| 専務理事 | 戸坂 知子        | グローバル・カフェ代表、研修副委員長、広報委員 |
| 理事   | 村中 正子        | 会計、交流副委員長               |
| 理事   | 永野 和子        | 交流副委員長、多文化共生委員          |
| 理事   | 郭 素霞         | 交流副委員長、多文化共生委員          |
| 理事   | Paul Conroy  | 多文化共生委員                 |
| 理事   | 井上千代子        | 研修委員                    |
| 理事   | 西川 正晃        | 会計、日本語教室委員              |
| 理事   | Shelley Chua | 多文化共生委員、交流委員            |
| 理事   | 十川 忠知        | 多文化共生委員                 |
| 理事   | 福島 一昭        | 多文化共生委員                 |
| 理事   | 高橋 信弘        | 多文化共生委員、日本語教室委員         |
| 理事   | 安平 幸博        | 多文化共生委員、日本語教室委員         |
| 理事   | 佐川真理亜        | 交流委員                    |
| 監事   | 八角 榮子・小山田光成  |                         |
| 顧問   | 小川 公延        |                         |
| 参与   | 中國健二郎        |                         |



## <新任理事紹介>

### 1) 福島 一昭

日本郵政（株）退職後、千葉市国際交流協会にて非常勤職員として、多文化共生業務に従事。日本郵政在職中は、主に国際関係部門に所属し、タイ国バンコクを含め諸外国の郵政庁との提携業務に従事。

平成30年10月入会。大網白里市みずほ台在住

### 2) 高橋 信弘

大手電機メーカーにて海外勤務など経験し、退職後は複数の大学にて英語教師や講師を歴任。専門は、国際ビジネスコミュニケーション論。平成31年4月入会。東金市大沼田在住。

### 3) 安平 幸博

元海上自衛隊勤務。その功勞により、平成30年秋、瑞宝双光章を受勲。職業柄、英語は堪能、中国語、韓国語を熟す先端技術者。産業カウンセラー。平成31年4月入会。大網白里市みずほ台在住

### 4) 佐川真理亜

フィリピン共和国出身。在日30年。その間、英語教師など経験。

平成30年10月入会。大網白里市大網在住

# 令和元年度事業計画 Our activities plan for the fiscal year of 2019

令和元年度の多文化共生委員会、交流委員会、研修委員会、広報委員会、日本語教室委員会の事業計画は下記の通りです。これらの事業計画は、定例総会にて承認されました。

## 1) 多文化共生委員会 (Multicultural Society Committee)

- ① 多文化共生推進プラン施策メニュー実施評価と協働推進活動の展開
- ② 「グローバル・カフェ OSIFA」の原則月1回開店継続
- ③ 市総合防災訓練参加と外国人支援
- ④ 大網白里市住民協働事業立案への取り組み

Global Café OSIFA



## 2) 交流委員会 (Interchange Committee)

- ① 城西国際大学 (JIU) 留学生との交流会活動  
毎年恒例化した「留学生交流会」を秋に開催
- ② 国際食文化交流会

当市及び近隣在住外国出身者、JIU 留学生を招待して開催する国際食文化を通じての交流会を令和2年1月に中央公民館にて開催します。



## 3) 研修委員会 (Training and Study Committee)

- ① 国内移動研修

美術館、歴史的名勝、文化遺産等の見学により国際的視野とセンスを養うことを目的として、今年度は7月10日(水)に東京お台場の「日本科学未来館」と愛宕の「NHK放送博物館」を見学しました。

- ② 英会話教室 (教育委員会所属 ALT による)

木曜クラス (第1・2・3・4木曜日)

金曜クラス (第1・2・3・4金曜日)

当英会話教室のメンバーには、日本語教室等他事業へのボランティアとしての積極的参加を促しています。



- ③ 城西国際大学留学生のホームステイ受入れ (6月8~9日に実施。6ページ報告参照)

- ④ 訪日教育旅行生のホームステイ受入れ (5月13~14日に実施。6ページ報告参照)

## 4) 日本語教室委員会 (Japanese Classes Committee)

- ① 公民館事業としての「たのしい日本語教室」月2回、第1土曜日と第2土曜日に開講。

- ② 当協会独自の事業として、「日本語支援 S クラス」を第3土曜日に開講。更に、外国人参加者と日本人学習支援者が、対話を通して日本語とコミュニケーションを学ぶ場としての「日本語支援 M クラス」を原則第4土曜日に年間10回開催。

\* 日本語教室の詳細については、下記 QR コード(2) にて「たのしい日本語教室」(Japanese Class)を読み込んでください。日本語、英語及び中国語にてカリキュラム、時間、場所等が詳しく説明されています。(Read the above QR code (2) to get the details of Japanese Classes in Japanese, English and Chinese.)

## 5) 広報委員会 (Public Relations Committee)

- ① 広報誌「つばさ」(年刊誌)の発行
- ② 協会ホームページの刷新と機能強化

URL: <http://osifa.jimdo.com>



(1) OSIFA HP



(2) OSIFA Japanese Classes

# 平成 30 年度実施事業 Our activities in the fiscal year of 2018.

## 1) 多文化共生委員会 (Multicultural Society Committee)

- ① 日本語教室運営、日本語指導者の確保等支援活動
- ② グローバル・カフェ OSIFA 10 回開店。来訪者延 339 人、外国人来訪者 83 名
- ③ 訪日教育旅行生ホームステイ  
平成 30 年 5 月 11~12 日 17 名の台湾からの中高生を 7 家族にて受入れ。
- ④ 城西国際大学留学生ホームステイ  
平成 30 年 6 月 9~10 日 5 名の留学生を 2 家族にて受入れ。
- ⑤ 大網白里市多文化共生推進協議会  
7 月 17 日 (火) に開催された協議会に 3 名の委員が参加。

## 2) 交流委員会 (Interchange Committee)

- ② 城西国際大学留学生との交流会  
平成 30 年 (2018 年) 11 月 17 日 (土) 実施
- ③ 国際食文化交流会  
平成 31 年 (2019 年) 1 月 27 日 (日)  
中央公民館講堂にて開催。



## 3) 研修委員会 (Training and Study Committee)

- ① 国内移動研修  
7 月 4 日 (水) 「筑波宇宙センター」と「牛久大仏」を見学
- ② 英会話教室 (教育委員会所属 ALT による)  
木曜クラス、金曜クラス



## 4) 日本語教室委員会

公民館事業「たのしい日本語教室」  
毎月 2 回 水曜日に開催  
日本語支援 S クラス 第 3 土曜日  
年 10 回開催



## 5) 広報委員会 (Public Relations Committee)

- ① 広報誌「つばさ 22」(年刊誌) の発行
- ② ホームページの更新維持

## <ホームステイ受入れ報告>

令和元年度（2019）の海外からの旅行生、留学生のホームステイ受入れ事業は、既に終わりました。それぞれの受入れ体験談を下記に報告します。

### 1) 訪日教育旅行ホームステイ受入れ体験記 令和元年5月15日 会長 田村隆文

今般、千葉県より大網白里市に台湾の高級中学校（高校生）の女性11名の「2019教育部家事類海外日本研修」に係るホームステイの受け入れ要請が市・企画政策課にあり、観光協会が5名を受け入れ、教育委員会・生涯学習課を通じて当協会が6名を受け入れました。日程は5月13日（月）から14日（火）迄で、台湾全国の家政科系におけるコンテストで優勝（金賞）した優秀な学生で構成されていました。

5月13日（月）の17時頃に学生が市・中央公民館に到着すると同時に金坂市長他市職員の皆様、マリンちゃん、ホストファミリーの皆様が台湾の旗と日本の旗を振って出迎えました。

金坂市長の歓迎挨拶、研修団代表挨拶、写真撮影の後、それぞれのホストファミリー宅へ出発しました。学生がホストファミリー宅で少し落ち着いた頃に拙宅、平井家、関谷家へは研修団の関係者による家庭訪問も実施されました。

翌日の5月14日（火）は、08時30分までに市役所に集合して、ホストファミリーの代表として私の歓送挨拶と研修代表団の感謝の挨拶及び学生代表の感謝の挨拶がありました。私の挨拶が終わる頃から、学生を始めとする台湾側の皆様が涙・涙となり、対応するホストファミリー側の奥様たちも涙目になって、別れを惜しみながら、公民館玄関で台湾の旗を振ってお別れしました。

ホームステイは1泊2日の大変短い期間でしたが、台湾の高級中学校の家政科系のコンテストで優勝された優秀な学生さんが、ホームステイを通して国際交流の芽を育み、ホストファミリーと新鮮な驚きや感動を分かち合いながら、生きた日本語や日本文化・習慣を少しでも学んでいただければ幸いです。また、ホストファミリーの皆様も日本の文化に少しでも触れていただきたいという「おもてなし」の気持ちで対応されたのではないかと思います。

受入れ式では緊張していた台湾の学生たちが、出発式では涙を流して別れを惜んでいる様子を見て本当に良い思い出となる時間を過ごしていただいたと感じ、見送り側としても感極まりました。研修生の皆様は5月22日（水）まで研修・視察旅行をされますが、体調管理に気を付けられて楽しい思い出となる訪日教育旅行となるように祈念しながら関係者全員で台湾の旗を振って見送りました。（文責：田村）



訪日教育旅行研修生受入式での市長他ホストファミリーの皆様との記念写真

### 2) 城西国際大学留学生のホームステイ 令和元年6月10日 会長 田村隆文

米国ジョージア州アトランタにあるスペルマン・カレッジから城西国際大学に短期語学研修を目的としたサマープログラムで留学している8人の留学生を会員の皆様が家族の一員として6月8日（土）から9日（日）迄の間、1泊2日のショートホームステイを受け入れました。これは、ホームステイを通して国際交

流の芽を育み、ホストファミリーである会員家族と新鮮な驚きや感動を分かち合いながら、生活環境、習慣、言葉の違いを乗り越え、生きた日本語や日本の文化を学んでいただく事を目的としています。1泊2日という大変短い期間でしたが、ホームステイを積極的に受け入れていただいた、田村ホストファミリー（2名）、古内ホストファミリー（2名）、井上ホストファミリー（1名）、関谷ホストファミリー（3名）の会員家族の皆様感謝申し上げます。



### \*\*\* 2019年度 語学講座 Language Classes \*\*\*

| 講座名                  | レベル・内容                         | 曜日               | 時間            | 場所              |
|----------------------|--------------------------------|------------------|---------------|-----------------|
| 「たのしい日本語」<br>初級クラス A | 初めて日本語を学ぶ人への会話、読み書き。平仮名、片仮名から。 | 第1 土曜日<br>第2 土曜日 | 9:30 ~ 11:00  | 中央公民館<br>2F 講義室 |
| 「たのしい日本語」<br>初級クラス B | 教科書で文法と会話を勉強。やさしい漢字とより上手な会話。   | 第1 土曜日<br>第2 土曜日 | 11:00 ~ 12:30 | 中央公民館<br>2F 講義室 |
| 日本語支援 S クラス          | 初級クラスの補習、ていねいな言葉、敬語、業務用会話、手紙文等 | 第3 土曜日           | 11:00 ~ 12:30 | 中央公民館<br>2F 講義室 |
| 日本語支援 M クラス          | 初級から上級まで、Man-to-Man (1対1) 対話方式 | 第4 土曜日           | 11:00 ~ 12:30 | 中央公民館           |
| 英会話教室                | 木曜クラス                          | 毎週木曜日<br>Ex. 第5木 | 14:00 ~ 16:00 | 中央公民館<br>2F 講義室 |
| 英会話教室                | 金曜クラス                          | 毎週金曜日<br>Ex. 第5金 | 14:00 ~ 16:00 | 中央公民館<br>2F 講義室 |

注) ① 「たのしい日本語」及び「日本語支援クラス」の受講資格は、大網白里市在住者、又は在勤者に限定されます。

② 日本語支援クラス受講者は、1回につき300円（教材費、維持費等）を負担して頂きます。

③ 英会話教室の受講資格者は、大網白里市国際交流協会会員であり入室審査合格者に限定されます。

④ 英会話教室木曜クラスと金曜クラス両クラスの掛持ち受講はできません。

## グローバル・カフェ OSIFA (オンファ)

Global Café OSIFA



「いろいろなくにのひととおしゃべりをしましょう」をキャッチフレーズに、2017年11月から月1回のペースで、土曜日の午後1時30分から4時まで、誰でも好きな時間にぶらりと立ち寄り、新しい出会い、会話、ゲーム、お茶などを楽しむ場を設けています。

以前、市が「外国人市民実態アンケート調査」を行ったときに、在住外国人の方々からの回答に「地域の人達と交流する場が欲しい」との要望が多くあった事から、多文化共生推進事業の一環として実施することにしたものです。在留外国人の方、その家族、日本人一般市民、そして協会員合わせて、毎回30~40名の方々が集まり、会話、ゲーム、カード、歌唱等、午後のひと時の交流を楽しんでいます。スタッフ一同、皆様のご来店をお待ちしています。

# 会員を募集しています!! Join us and be a member!!

大網白里市国際交流協会は、国際交流活動、多文化共生推進活動を通じて、在住外国人と共に世界に開かれた地域づくりと、大網白里市の基本理念「住みたい・住み続けたいまち」づくりへの貢献を目指しています。

具体的な活動は、下記の5つの専門委員会が企画する行事に参加することです。

是非、入会し、地域づくり、まちづくりを楽しんでください。

## \*専門委員会の主な活動 Main activities of the committees

### 【多文化共生委員会 Multicultural Society Committee】

- ・市と共に「多文化共生推進協議会」を構成し、多文化共生推進プラン施策メニューを実施推進します。
- ・在住外国人を含むすべての市民との交流の場「グローバル・カフェ」を運営します。

### 【交流委員会 Interchange Committee】

- ・城西国際大学留学生との交流会を開催します。
- ・地域在住の外国人との国際食文化交流会を開催します。

### 【研修委員会 Training and Study Committee】

- ・バスによる国内移動研修旅行を企画実行します。
- ・城西国際大学留学生や海外からの教育旅行生のホームステイ受け入れをします。
- ・英会話教室の運営管理を行います。

### 【広報委員会 Public Relations Committee】

- ・広報誌発行とホームページ維持管理します。

### 【日本語教室委員会 Japanese Classes Committee】

- ・大網白里市在住の外国人のための日本語教室を運営します。

## \*年会費 Annual Membership Fee

- ・日本人個人会員 Japanese individual membership 2,000 円
- ・家族会員 (2人以上) Family membership (Two or more) 3,000 円
- ・外国人会員、学生会員 Foreign or student membership 1,000 円
- ・団体会員 Group membership 5,000 円

## \*入会申込・問合せ Application and/or inquiry for membership.

大網白里市教育委員会生涯学習課内 大網白里市国際交流協会事務局

Secretariat, OamiShirasato International Friendship Association

c/o Lifelong Learning Division, Board of Education

☎ 0475 70 0380 E-mail:gakushu@city.oamishirasato.lg.jp

編集後記：電子媒体のホームページの更新に追われて四苦八苦しているうちに、年に1回の発行と決めた紙媒体の「つばさ」の発行時期が迫ってきて、あたふたと編集に取り組んだが、これら二つ媒体の違いは何なのだろうかとはたと考え込んでしまいました。いつでも瞬時に変更できるホームページの記事と年刊の「つばさ」の記事が合うわけがないが、その一方、電子媒体には疎い会員、読者も多い筈であり、その配慮も必要かと考えると編集が鈍り、解答も出さぬままに期限に追われて発行してしまったのではと反省することしきりです。

広報委員会 編集部